

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスゆいすぼⅡ			
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日		～	令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	28
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日		～	令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人ひとりの課題に合わせた個別支援。	困り事に対してその背景を見るようにしている。	保護者に向けた集会や講演会を行う。
2	職員と共に課題解決に取り組む。	子どもの意思を尊重して 活動決めを行なうようにしている。	保護者参加型のイベントの開催。
3	地域資源を活用した活動をしている。	子ども達自身が問題解決できるよう 職員がフォローアップをしている。	同会社の就労支援事業所との交流

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内での活動スペースの確保。	利用率が120%を超える場合に狭く感じる。	活動場所を分ける事でスペースの確保を行なっている。
2	地域の方々との交流の機会が少ない。	事業所に地域の方を招待するイベントを組んでいない。	地域の方の交流は防犯の観点から、実施をしていませんが、地域のイベントなどに出向いた際に交流ができる機会を持てるようにしている。
3	3 ペアレント・トレーニングの機会が少ない。	職員から保護者への声掛けが少ない。	問題行動や課題が顕著に見られる場合や、 緊急性がある場合に保護者へ声掛けをして 子どもとの関わり方について相談をしている